

漁海況情報

2010年(平成22年)10月 第455号

最新情報：沖縄県水産海洋研究センターURL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。



↑携帯電話からのアクセスはこちらへ(QRコード)

沖縄県水産海洋研究センター
901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号
電話 098-994-3593・3597
FAX 098-995-2357

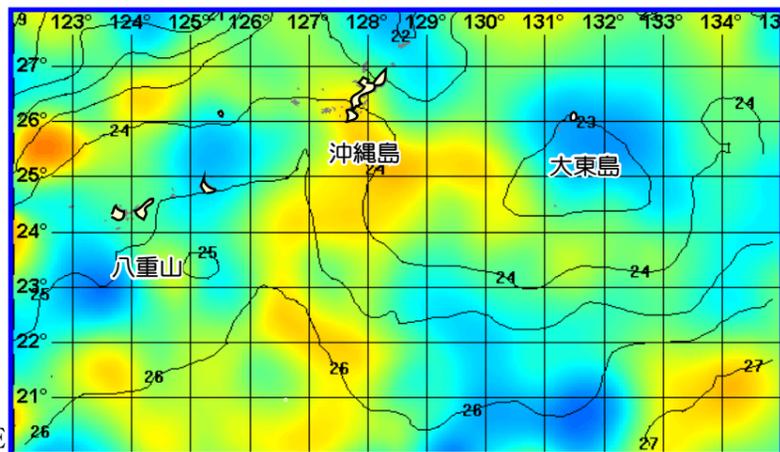


図1. 表面水温分布図(2010年12月19日) 資料：東シナ海海況速報(漁業情報サービスセンター)

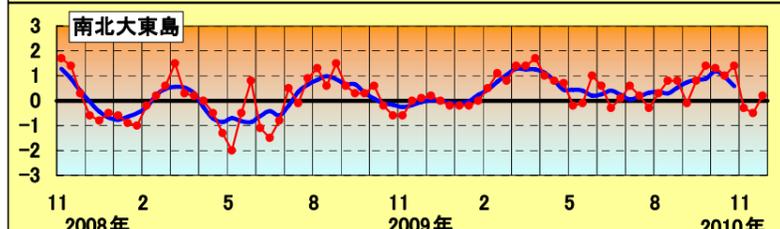
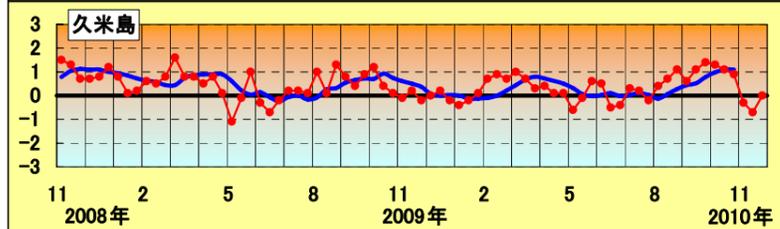
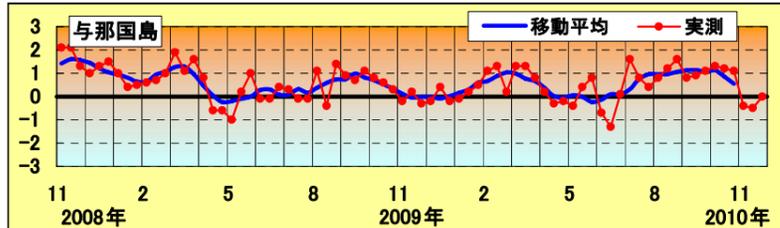
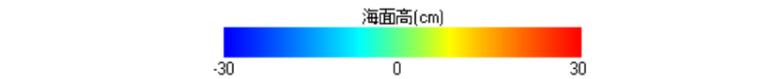


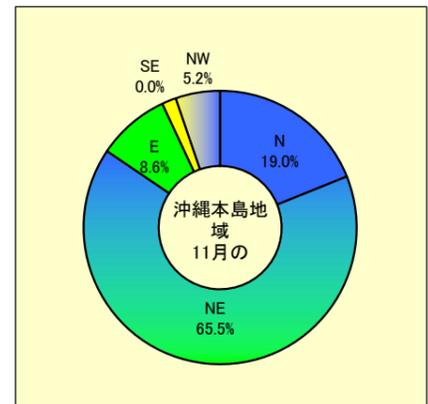
図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)
資料：西日本海況旬報(長崎海洋気象台)

水温：12月中旬から1月中旬の沖縄周辺海域、大東諸島周辺及び沖縄南方海域の海面水温は前半、平年並み(±0.5°C程度)、後半、やや低め(-1.0°C程度)で推移する見込み。大東諸島付近に冷水性の中規模渦があり周辺海域より水温が低くなっている模様。宮古島から本島喜屋武岬にかけては暖水の流入により水温が高くなっている模様。

潮流：大東諸島付近に冷水性(反時計回り)の中規模渦が接近しており、大東諸島付近を中心に反時計回りの潮流が発生している見込み。宮古島から喜屋武岬の南では北東向きの潮流が発生している見込み。

参考資料
九州・沖縄海域日別潮流(2010年12月20日)海水温・海流1ヶ月予報
：気象庁地球環境・海洋部12月20日発表
西日本海況旬報
：長崎海洋気象台12月20日発表
沖縄県地方1ヶ月予報解説資料

11月の表面水温平年偏差	
与那国	平年並み
久米島	平年並み
沖縄島南	平年並み
大東島	平年並み



那覇の風向：平成22年11月2日～30日
(琉球新報天気欄より)

漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域と伊良部では、キハダ、シビの水揚げが多かった。

表1 10月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ 総漁獲量
シイラ	1.1	0.7	0.4	0.6	2.9	1.6	8.6
カカジキ	0.2	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	5.3
沖サワラ	0.1	0.0	0.1	0.1	0.3	0.0	1.1
カツオ	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3	4.2	7.8
キハダ	41.9	3.5	13.9	4.3	63.5	10.4	111.7
シビ	3.1	4.6	2.7	6.4	16.9	23.3	44.6
メバチ	4.0	0.2	2.9	5.9	13.0	0.0	17.2
計	50.6	9.1	20.2	17.3	97.2	39.6	196.3

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6～10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

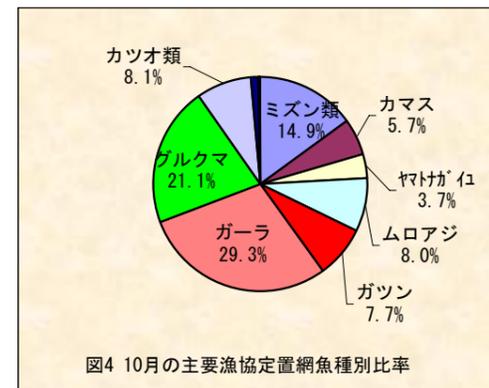
年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					
	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2006年	18.2	27.0	43.1	45.4	30.8	164.5
2007年	10.6	22.9	22.7	30.0	24.9	111.0
2008年	9.3	13.1	30.7	21.0	26.1	100.2
2009年	40.5	25.9	38.3	33.8	17.1	155.6
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8

表3 6～10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					
	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2006年	59.7	35.8	44.9	34.9	33.2	208.5
2007年	14.2	26.9	21.8	56.4	27.2	146.6
2008年	21.8	26.3	19.1	20.0	25.8	113.1
2009年	16.6	19.0	27.5	21.5	6.7	91.3
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0

表4 6～10月のシイラ漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					
	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2006年	4.1	0.9	2.1	15.3	8.3	30.7
2007年	9.6	0.9	2.2	8.8	6.1	27.6
2008年	1.2	0.4	1.8	3.1	7.4	13.8
2009年	1.8	0.3	5.1	3.5	6.0	16.7
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4



定置網：10月の全体の漁獲状況は、8,945.5kgで先月(10,613.8kg)と比べて減少した。ガーラの漁獲が全体の29.3%、グルクマが21.1%を占めた(表5、図4)。



タイワンダイ(よなばるまじく)

糸満ではキハダ(10kg以上)が41.9t、港川ではシビが4.6t、キハダが3.5t、知念ではキハダが13.9t、沖縄市ではシビが6.4t、メバチが5.9t、キハダが4.3t、伊良部ではシビが23.3t、キハダが10.4t、漁獲された(表1)

沖縄本島南部海域における過去5年間の6～10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2～4に示した。更に過去4年間の1～12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

今年度のキハダの漁獲量を過去3年間と比較すると、4月期(94.9t)、5月期(155.1t)、6月期(65.5t)についてはかなり多かった(図3)。また10月期のキハダの漁獲量は63.5tで、昨年の10月期(17.1t)を大きく上回った(表2)。

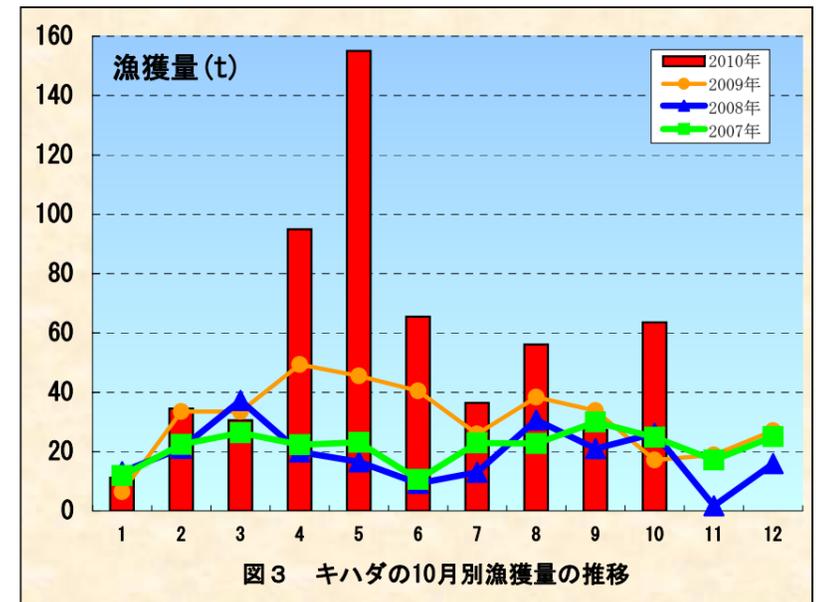


図3 キハダの10月別漁獲量の推移

表5 10月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置				小型定置			合計	県内定置 総漁獲量
	読谷	知念	石川	金武	名護	勝連	与那城		
ミズン類	571.3	8.8	0.0	197.5	79.5	55.0	421.8	1,333.9	1,333.9
カマス	166.4	10.1	0.0	195.7	4.5	57.1	44.7	478.5	507.0
ヤマトガイ	205.2	23.2	4.5	30.5	3.3	36.8	21.5	325.0	330.8
ムロアジ	508.4	95.2	4.0	85.0	6.4	15.4	1.7	716.1	716.1
ガツン	307.6	24.6	0.0	114.2	75.7	81.4	63.6	667.1	687.8
ガーラ	1,464.1	411.5	0.0	188.6	23.9	50.2	441.3	2,579.6	2,617.3
グルクマ	647.9	49.4	0.9	840.0	0.0	173.0	85.9	1,797.1	1,890.6
カツオ類	687.9	0.0	0.0	2.0	0.0	11.0	0.0	700.9	725.7
タチウオ	0.0	76.9	0.0	0.0	0.0	31.8	2.8	111.5	112.2
アイゴ	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	5.8	5.6	12.1	24.1
合計	4,558.8	700.4	9.4	1,653.5	193.3	517.5	1,088.9	8,721.8	8,945.5

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。